

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 304 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL https://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

京都労働局宛最賃署名提出行動&宣伝

宣伝行動

7月22日(火) 12:45~13:15 烏丸御池交差点

最賃署名提出(個人請願)行動

7月22日(火) 13:30~ 京都労働局前

止まらない
物価高騰

こんな時こそ

追い付かない
賃上げ・
年金改定

国民のくらしに

向き合う政治を



ディーセントワーク宣伝（6月16日 二条駅前）

参議院選挙 ワタシたちの投票で政治を変えよう

7月に参議院選挙が行われます。日程は、7月3日公示・7月20日投票が有力です。昨年の総選挙で、自民党のウラ金政治に対する国民の大きな批判の中、自民・公明の与党が過半数を獲得できず、少数与党になりました。今回の選挙結果次第で、大きく政治が変わる可能性が広がっています。選挙に行くと、政治を変えるチャンスです。

止まらない物価高騰

お米の値段が1年で倍になり、野菜も家賃も電機・ガスなど光熱費も、ガソリンなどの燃料代も、あらゆるものが値上がりする一方、春闘でがんばって賃上げを実現してきていますが、それで

も物価高騰に追い付かず、年金も今年度わずか増額改定されたものの物価上昇には追いつかず、労働者・国民のくらしは大変苦しい状況に陥っています。こうした中、物価高から国民のくらしを守るために消費税減税が7月の参議員選挙の大きな争点に浮上っています。消費税率減税が実現できる政治に転換できるかどうか、私たちのくらしがかかった大切な参議院選挙です。

物価高対策には消費税率減税

4月から6月に報道各社が行った世論調査で、

「消費税減税・廃止」を求める声は約7割に上っています。多くの国民が物価高からくらしを守るために消費税減税を望んでいるのです。すべての野党が「消費税減税や廃止」を参議院選挙公約に掲げています。与党の自民党・公明党だけが減税に反対しています。

最低賃金引き上げはすべての野党が主張しています。最低賃金を今すぐ全国一律1500円以上に引き上げ、さらに1700円以上へとすすめていくことが労働者の待ったなしの願いです。最低賃金引き上げは政治の決断で実現可能です。参議院選挙で最低賃金を引き

最低賃金引き上げ、暮らせる年金を

私たちは、「最低賃金を1700円以上に」「暮らせる年金を」など、すべての労働者・国民のフットコクをあたためる施策と消費税減税などの物価対策でくらしを守ることを求めています。

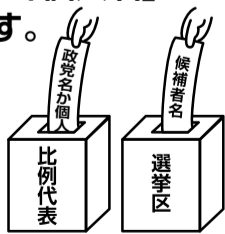
上げる政策をかかげる政党・議員を増やすことが大事になっていきます。年金制度改革法が6月13日に成立しました。年金が増えるかのように言われていますが、「マクロ経済スライド」を継続することで今後十数年にわたる年金水準が下がります。参議院選挙、ぜひ投票に行きましょう。

参議院選挙 制度解説

今度の参議院選挙では2回投票します

比例代表は「政党名」でも「個人名」でも投票できます。

選挙区は「候補者名」で投票します。



自民党・西田参議院議員 ひめゆりの塔 「歴史書き換え」発言に抗議



抗議

西田昌司参議院議員が沖縄で、ひめゆりの塔の展示内容について「要するに日本軍がどんでん入ってきて、ひめゆり隊が死ぬことになっちゃった。そして、アメリカが入ってきて、沖縄が解放された」と「1」になった方々は救われませんよ、本当に。だから、歴史を書き換えられる

と、こういうことになっちゃうわけですね」「沖縄の場合には、地上戦の解釈を含めて、かなりむちゃくちゃな教育のされ方をしていますよね」「自分たちが納得できる歴史を造らないとできないと思います。それをやらないと、日本は独立できないですよ」とどこ述べ（沖縄タイムス5月

4日報道）、沖縄県知事や県議会が抗議し、ひめゆり平和祈念資料館は「西田氏が述べたような説明は一切存在しない」と抗議しました。京都総評は西田議員の発言に対して5月8日、「沖縄県民を愚弄し、国会議員が、戦争の実相に向き合わないという無責任極まりない態度は、

とついで許されないものであり、満身の怒りで抗議するとともに、撤回を求める」との緊急声明を出しました。5月16日に沖縄県議会で「沖縄戦の実相をゆがめ、戦没者や戦争体験者を冒瀆」するなどとする抗議決議があがり、6月6日には京都市議会で「強い遺憾の意を表明」し「沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める」「抗議決議があがりました。引き続き抗議の声をあげる」とともに、改憲と戦争する国づくりを許さない運動を展開していくことが大事です。

TUBUYAKI

組合員のAさんが、勤務中に転倒し負傷したにもかかわらず、公務災害として認められなかった案件について、総評の救済支援も受け、再審査請求をすすめていた。先日結果が出され、当初の判断をくつがえし公務災害認定を勝ち取ることができた▼この勝利は京都市職労単独の支援では勝ち取れなかった。職対連や総評の力を借りたことで、官民の違いに気づくことができた▼「民間なら認められる災害だ」という声には正直驚いた。元労基署長にも尽力いただき、同じ理念に基づく労災と公災なのに運用面の違いが生じていることが分かってきた。労働者の声を代表する国会議員の働きかけで総務省、厚労省の両者からレクを受けることもでき違いが鮮明になった▼Aさん個人の災害が認められないという問題を出发点に、公務災害と労働災害で認定状況が異なっているという大きな課題を明らかにしたことは大きな成果だ▼課題解決に向けて官民共同を広げ運動をすすめていこう。来る参議院選挙、労働者を代表する国会議員の選出も不可欠だ。

(H.U)

給特法改定強行に抗議



抗議の緊急宣伝（西院）

緊急宣伝 行動に30人

6月11日参議院本会議で給特法改定が強行されました。それに抗議する緊急宣伝が西院で行われ、仕事を終えた市立高教組・京都市教組の組合員や京都総評、京教組、全国一般、北上地区労、左京地区労などから30人が参加しました。

「教職員が足りなくて休憩も取れない」「子育て中の女性教職員が夜中や早朝に仕事をせざるを得ない」など学校現場の実態を訴え、「いい教育を行うために条件を整えてほしい」と願いが語られました。また、「教育に不可欠の仕事は労働と認めない政府の考えはおかしい」「ただ働き残業が放置されている実態はありえない」と訴えました。



講演する角田弁護士

はたらく女性の 京都フェスタに70人

ハラスメントのない 職場づくりへ学習と交流

6月8日、2025はたらく女性の京都フェスタが京都教育文化センター（オンライン併用）で開催され、角田由紀子弁護士を講師に「生き生きと自分らしく働きたい！～ハラスメントのない職場を作るには～」と自分らしく働きたい！ハラスメントのない職場を作るには～」をテーマに学習とグループ交流を行いました。主催は、京都総評女性部も参加する同実行委員会です。物販コーナーもあり、本や雑貨、コーヒー、お菓子なども購入でき、楽しい子ども企画も並行して行われました。今年は、男性参加者も増えて70人を超える参加でした。

角田弁護士は、1989年国内初のセクハラ裁判の代理人を務められ、その後も女性の権利に関する事件を多く担当されています。講演では、「ハラスメント」については法的定義がない」と述べられ、「男女雇用機会均等法11条1項の規定は、ハラスメント防止を事業主に義務づけただけ」と説明。

「今までのハラスメント裁判は、民法709条の『不法行為規定』を活用しているが、救済は原則金銭賠償で低額であること。加害者の地位や力関係が大きい場合が多く、『被害者も適切でない』と理解がされにくいこと。長期間の裁判となり、それが加害者有利にさせることがある」との問題点を指摘されました。

最後に、「労働組合の力はとても大きく、裁判ではいつも組合員や関係者で傍聴席をいっぱいにして、裁判後には報告集会を行い、問題を拡散することが社会全体にも認識が広がっている」と労働組合への期待を述べられました。そして、日本は、ILO190号条約を批准し、新しい法律を作り、ハラスメントを法的に定義すること、そうやって国際的なレベルまで追いつかなければならないと強調されました。

千原眼科医院で労働組合結成

京都医労連30番目のなかま

5月30日、宇治市伊勢田にある医療法人千原会千原眼科医院（従業員41人）で労働組合を結成し、京都医労連に加盟しました。

2年前に着任した新院長が、従来手術に関わる看護職員に支給されていた手術手当の一方的な減額と廃止を提示。全員で話を聞き、一旦は撤回させました。しかし、「看護師が悪さをしている」と大声でわめいていたことが発覚し、こうした院長の横暴に危機感を持ち労働組合結成を決意して京都医労連に相談。5人の仲間と労働組合を結成しました。

（京都医労連通信より）

創立75周年 仲間の仕事と くらしを守るために奮闘

単産の活動
生業での
組合活動

京建労（全京都建築労働組合）



「若者が育つ建設業」に仲間とともに実現をめざすことが京建労の役割です。

担い手確保には、建設技能者の大幅な賃上げや処遇改善が必要です。私たちの運動と国・行政・業界をあげての対策で設計労務単価は13年連続で引き上げられていますが、大手企業は大きな利益を上げています。現場で働く者の賃上げや労働条件・環境の改善はまだまだすすんでいません。これ

京建労は今年、創立75周年を迎えます。歴史と伝統を生かし、すべての建設業に従事する仲間の仕事とくらしを守るためにこれからも運動を続けていきます。

メーデー頑張りました!!

西右京地区労組
swimming mother's



晴天の中、5月1日のメーデーに親子3組で参加しました。母の方が汗かく。子どもたちは市役所の鯉のぼりをみて更に元気に子どもたちに泳がされた一日となりました。（鯉のぼりだけに笑）

あなたのパシャ写真募集中!

【応募方法】①画像1枚、②タイトル、③コメント100～200字程度、④お名前（掲載はペンネーム可）、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード（1000円分）を贈呈します。